



由布市 議会だより

YUFU CITY COUNCIL

No. 68
2022年11月



湯布院に3年ぶりの大声が響く!



挟間町谷小学校運動会



全国和牛能力共進会(鹿児島にて)



おいしい庄内梨(新高)

CONTENTS

- 令和4年第3回定例会 概要 1
議案質疑 2
常任委員会報告 3~4
令和3年度決算 5~6
- 市政を問う(一般質問) 7~10
- 議会活性化調査特別委員会 報告 10
- 賛否一覧、編集後記等 裏表紙

令和4年第3回定例会概要

令和4年第3回定例会が9月7日に開会され9月27日までの21日間開催されました。

今定例会で提案された報告6件、認定2件、諮問4件、議案14件、を審議しました。提案された議案等すべて原案通り認定、適任と答申、同意、可決としました。また、第2回定例会で提出された請願（塚原バイパス新設）は、諸般の事情による取下げ申し出により審議を中止しました。

決算特別委員会を設置し、令和3年度の決算を審議しました。詳細は5、6ページ。

本会議で決まりました

- ◆財産の取得について（市域ネットワーク構築機器一式）
- ◆由布市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ◆由布市スポーツ推進審議会条例の一部改正について

補正予算を可決

一般会計補正予算では歳入歳出それぞれ2億6,077万7千円を追加し、総額は215億6,605万8千円となりました。主な事業は、湯布院庁舎管理事業（駐車場整備工事費）、障がい者保護事業、小学校施設整備事業（挾間小学校）、塵芥処理事業（新環境センター）、観光振興事業（Destinyネーションキャンペーン）が主なもの。国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計補正予算はそれぞれ過年度清算の確定による繰入金、繰越金が主なもの。農業集落排水事業特別会計は繰越金の確定及びポンプ修繕にかかる費用。

橋本教育長を選任

3期8年間務められた、加藤淳一教育長（69歳）が令和4年9月30日をもって辞任されるのに伴い、後任として、橋本洋一氏（67歳）の任命に同意しました。

また、教育委員会委員について、高橋知佳氏（庄内町）、佐藤式男氏（湯布院町）の任命、再任に同意しました。

人権擁護委員を選任

人権擁護委員の任期が、令和4年12月31日をもって満了となるため、阿部千鶴子氏（挾間町）、江藤実子氏（湯布院町）、足利良温氏（湯布院町）、麻生洋美氏（庄内町）の推薦に同意しました。

固定資産評価審査委員を選任

固定資産評価審査委員会委員の任期が令和4年11月17日をもって満了となるため、柚野武裕氏（挾間町）の再任に同意しました。

農業委員会委員を選任

農業委員会委員の欠員が生じたため、安部義浩氏（挾間町）の任命に同意しました。

議案質疑

教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価報告について

- Q** 歴史資料館の資料の保管と運用、文化財の保護、活用について現状と今後の方向性は。
- A** 現状は、資料館が狭すぎてすべてのものが展示出来なくなっている。また、限られたスペースに展示しているものを来館者に分かり易く伝えるために、展示のキャプションの作成、チラシ等を行い薄暗い館内でも、見やすく、広いボードで字も大きくするなど工面をしている。今後は、挟間図書館での常設展示物との入れ替えなどを通じて、歴史資料館に足を運んでもらうよう PR に努める。
- Q** 幼児教育振興プログラムの改定内容と新しく改定されたポイントは。
- A** 幼稚園教育要領の改定で、育みたい資質、能力として幼児期の終わりまでに育てほしい 10 の姿が示された。このことを由布市の目指す子ども像ということで示したのが改定の狙い。
- Q** 部活動の地域移行に向けた準備会の進捗状況と外部評価の C の理由は。
- A** 総合型スポーツクラブの代表者、学校の関係者と部活動の地域移行への協議を行ってきた。その中で、人材の確保、財政面の支援、スポーツを愛する子どもたちを育む基本的な組織立てをどのようにするかが課題として明確になった。今年度になり、スポーツ振興課とそれら課題に対して具体的な方向性を出すよう協議を進めている。評価 C の内容は、各種多くの事業が含まれており、コロナ禍の影響を一番受けやすかった関係で評価 C であった。

令和4年度由布市一般会計補正予算（第3号）

- Q** 由布市に住みたい事業で、県外からの移住者は何名か、また移住の理由は。
- A** 令和4年度8月末で27世帯51名。移住の理由は、コロナ禍で密を避けたい、就農、就業等の雇用の場及び生活環境の変化を求め移住された方がいる。
- Q** 社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業負担金の対象施設数、人数、単価の基準は。
- A** この事業は、物価高騰の影響を受ける社会福祉施設に対し、電気代高騰分を補填する事業で、障害者施設が62施設、高齢者施設が153施設、子育て施設34施設となっている。
- Q** 医療的ケア児・者非常用発電装置等購入費助成事業について。
- A** この事業は、在宅で人工呼吸器等の医療的ケアを行っている医療的ケア児・者に対し、非常用発電装置等の購入費の一部を助成するもの。購入費用12万円を上限とし、県2分の1、市2分の1の費用を助成するもの。
- Q** 園芸産地整備事業で整備するものは。
- A** イチゴのパッケージセンターの整備・改修にかかわる経費の支援を行うもの。
- Q** 大分県デスティネーションキャンペーンはどのように展開していくキャンペーンか、事業主体は。
- A** JRグループ6社と地元の自治体や観光団体、事業者等が協働で実施する国内最大級の観光誘客キャンペーンで、今回は大分と福岡両県で開催となっている。両県の実行委員会が令和6年4月のキャンペーンに向け準備等を行っていくことになっている。

総務常任委員会

財産の取得について

行政IT化の推進によりデータ通信量の増加が懸念され、安定的な通信環境の確保が求められる中、各庁舎及びデータセンターの接続点にあるネットワーク機器が老朽化したことによる機器の更新が主なもの。指名競争入札の結果、株式会社オーイーシーが1,875万5千円で落札。由布市有財産条例第2条の規定により、議会の議決を求めるもの。

全員一致で原案可決

由布市職員の育児休業に関する条例の一部改正について

労働者の妊娠、出産、育児等と仕事を両立できる職場環境の整備が求められる中、男性職員の育児参加や女性職員の更なる活躍を目的として、非常勤職員を含む由布市職員が育児休業等を取得しやすい職場環境を整備するための条例改正を行なうもの。

全員一致で原案可決

令和4年度由布市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億6,077万

7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ215億6,605万8千円とするもの。

歳出の主なものは、ゆふいんラックホール利用者専用駐車場25台分確保のためのイベントスペースにおける芝の保護及び安全柵の設置工事、区画線整備、案内看板設置に係る工事費303万5千円。湯布院地域の交通渋滞緩和の交通社会実験が本年の9月で終了するが、引き続きAIカメラ設置及びポータルサイトを維持する費用等に関する委託料333万3千円などが主なもの。

委員会として、交通渋滞に関して、今後も情報発信のあり方等、対策を十分検討し渋滞解消に向けた取り組みを進めるよう意見を付した。

全員一致で原案可決



教育民生常任委員会

令和4年度由布市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

令和4年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

令和4年度由布市介護保険特別会計補正予算(第2号)

それぞれ過年度精算の確定によるもの。

全員一致で原案可決

由布市スポーツ推進審議会条例の一部改正について

条例の一部改正は、由布市、挾間町、庄内町及び湯布院町の各体育協会の名称がスポーツ協会に変更されたことによるもの。

全員一致で原案可決

令和4年度由布市一般会計補正予算(第3号)

歳入の主なものは、児童福祉費負担金1,053万

4千円で施設型給付費加算金。歳出の主なものは、医療的ケアを必要とする児・者に対し、非常用発電装置等の購入費264万円、健康温泉館内の監視カメラの購入に48万4千円、挟間小学校整備事業の測量範囲が増えたことに伴う委託料2,074万8千円の増額、給食センター内の機械器具等の劣化による修繕費及び備品購入費326万6千円。委員会として、給食センターについては子ども達に安全安心な給食を届けるように意見を付した。

全員一致で原案可決



産業建設常任委員会

令和4年度由布市一般会計補正予算(第3号)

歳出の主なものは、塵芥処理事業2,457万円の増額は、新環境センターにおいて発電する電力を売電するための高圧電線路整備事業費。

園芸産地整備事業345万8千円は、挟間町下市のイチゴパッケージセンターの冷蔵庫や自動包装機を導入する補助金。

市営基盤整備事業700万円および雨水対策事業598万8千円の増額は、挟間町下市・古野地区の雨水対策に係る工事費。

観光振興事業134万4千円は、令和6年度に大分・福岡両県の全国的な宣伝・誘客を、JR各社と地元の官民が連携して行う「デスティネーションキャンペーン」に係る負担金。

土木費1億835万5千円の増額は、防衛調整交付金事業として湯布院町の3市道や八山橋架け替え費用、挟間町の市道上市無田線を通学路として整備するための測量設計委託料。

公共土木施設災害復旧費1,999万4千円は、庄内町の屋敷橋・阿蘇野川の仮設道工事費、および挟間町の黒川橋に係る配水管仮設工事費、並びに本年6月大雨による対応工事費。

委員会として、観光振興事業のデスティネーションキャンペーンにおいては、観光分野以外にも宣伝効果を波及させ、由布市全体を活性化するように進めていくとの説明があったが、一過性のイベントに留めることなく、継続的な活性化に資するよう意見を付した。

全員一致で原案可決

令和4年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ257万2千円を追加し、総額を8,987万6千円とするもの。挟間町来鉢地区の中継ポンプ修繕費が主なもの。

全員一致で原案可決

令和4年度由布市水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出では量水器の取替え工事費、資本的支出では市道向原野田線の配水管工事費。

	補正額	総額
収益的収入	補正無し	8億8,407万9千円
収益的支出	618万5千円	8億1,845万2千円
資本的収入	383万9千円	4億1,572万2千円
資本的支出	438万8千円	7億4,155万9千円

全員一致で原案可決



令和3年度の大決算!

コロナ禍を耐え抜くために

必見!



市ホームページ
大幅リニューアル
2,100万円

コロナ禍の支援
非課税世帯
子育て世帯
市内事業者
9億5,728万円

ゆふお得旅
キャンペーン等
5,252万円

**誘客
支援!**

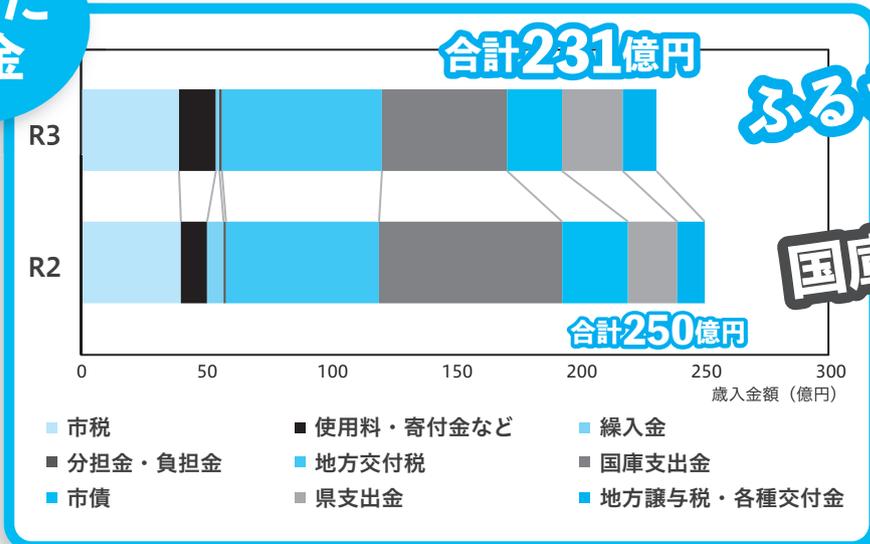


令和2年豪雨
災害復旧工事費
18億4,423万円

急げ!



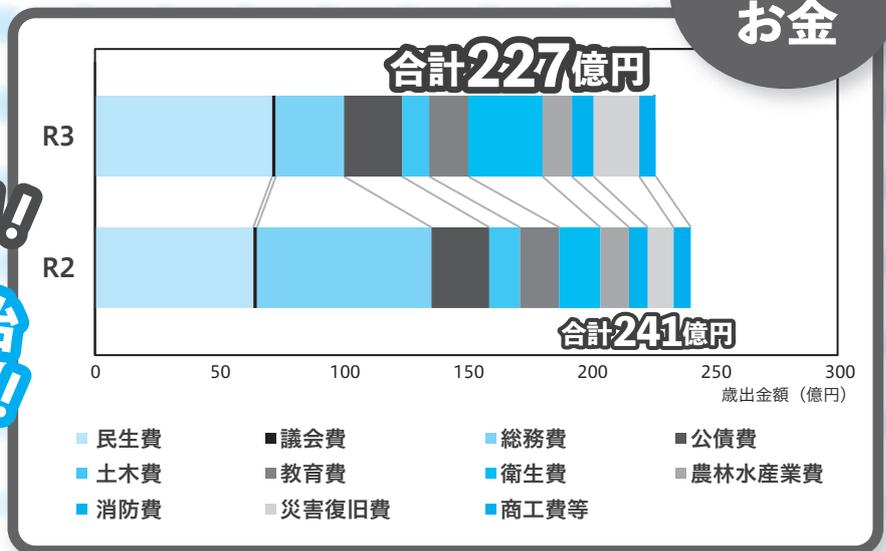
入った お金



**ふるさと納税(寄附金)
120%UP!**

**国庫支出金
31%DOWN!**

使った お金



**特別給付金*無し
総務費61%DOWN!**

**コロナワクチン開始
衛生費80%UP!**

*令和2年度に実施した全国民に10万円を給付する国の給付金。令和3年度は低所得者等に限定。

決算質疑

令和3年度由布市一般会計予算

< 歳入 >

Q 市民税の法人税で良かった職種と、その企業は継続できるか。

A 法人税では調定額が2,500万円の増で、主な要因は小売業1,400万円、製造業730万円、総合工事業が230万円の増。今後の見通しは、コロナによる影響が続く中、原材料や資材価格の高騰、円安や資源の高騰などが影響して、この3年度の水準での推移は難しいと想定している。

Q 不動産売払収入。行財政改革推進計画実施状況で、自主財源の確保で目標値100万円から550万円と大幅な効果が上がっている理由は。

A 水路や里道等の法定外公共有物において、用途に使用されていないものを用途廃止して、個人・企業者に売払いを行ったものが10件。道路改良工事による土地の売買によるものが1件の実績。

< 歳出 >

Q 挟間庁舎はかなりの年数が経っている。前年度の4階からの水漏れは空調機からか。今後も修理が増えると考えているか。

A 屋上からの雨漏りは空調機器のためではなく、全体的に問題が生じており、今年度予算で計上している。12月までには屋上全体の防水工事を行う。順次、大規模改修も、必要に応じ対応していきたい。

Q 地域公共交通事業で、令和4年度に実証実験準備とあるが具体的にどのようにするのか。

A 現在、定期路線で運行しているユーバスで挟間、湯布院の一部のコースでデマンド運行の実証実験の検討、準備を進めている。令和5年度の実証運行を予定している。コースを選定してモデル的にデマンド運行を行う予定。

Q 由布市に住みたい事業。空き家バンク新規登録者件数が伸びない理由と市独自の支援策は。

A 伸びない理由「①居住はしていないが家財等が処分できてない家が多い、②相続人等空家を管理する方が近くに住んでいない」。本年度は、建設課と連携し、市内にある空家の実態調査を実施している。空き家バンク登録に向けご案内をし、空き家登録時家財処分費補助制度を準備し、そのご案内もしていきたい。

Q 高齢者世帯のエアコンの助成は何件か。

A 33世帯に交付を行い、助成額は合計で165万円。設置されたエアコンは統一の物ではなく、上限5万円の補助。

Q 健康温泉館利用促進事業の修繕費は毎年300万円の予算で維持管理している。特別会計から一般会計に移行し事業費を見ると6,500万円。使用料を含めると約5,000万円近く一般会計の持ち出しがあるのではと思う。今後細かい修繕だけで、果たしてこの状況が改善できるか将来の見通しをどう考えるのか。

A 平成2年に施設が稼働し、年数が経っている。その間一度も変えてない機器もある。平成28年度策定の健康温泉館施設改修基本計画、および平成30年度策定の由布市公共施設個別計画の中の方針では、多額の維持管理費を要しているため建て替え時期を適切に見定める必要があると共に運営方法も含め、今後関係機関等と協議が必要と考える。

Q 地域資源活用推進事業の里のくらし支援事業費補助金、地域プロモーション推進事業費補助金1,472万8,095円。PR不足と思う。地域内は潤うのか。農家とどの様に結びついているのか。

A 令和2年度に設立された一般社団法人ユフイズムが行う農家民泊推進、地域資源である由布川峡谷でのパクラフトツアーの展開。又、地元農産物を使った特産品開発に係る補助です。里のくらしについての支援事業費補助金は、朴木地区の女性が平成25年に立ち上げた朴葉の会の拠点で朴木小学校の調理場改修などの整備補助。今年2月から毎週木・日曜日に地元食材を使った食事処「かふえ ほおのき」を開設し、農村との交流人口を増やす事により、小さな経済活動を行いながら、自主財源を確保し、住みつけられるまちづくりを目指している。

Q まちづくり観光局補助金2,194万9,993円の事業内容と運営における補助金出資率と運営状況を伺う。ツーリズム大分の負担金は。

A 由布市の観光の中心的組織との位置付けで、マーケティングやプロモーションを実施している。交付されている金額は全て人件費。観光戦略班と観光案内班の2班に分かれており観光戦略班に1,594万9,993円、観光案内班に600万円。全体の事業費の21.8%が、まちづくり観光局の補助金。大分県の公益社団法人ツーリズム大分に対しての会費の金額は、全体の0.1%。

令和3年度由布市農業集落排水事業特別会計予算

Q 使用料及び手数料の中で、滞納繰越分、収入未済額252万1,000円。未納者の固定化、常態化があるが改善策は。

A 29戸の滞納がある。今年4月から税務課のほうで収納対策推進室が設置された。12課長が集まって対策検討を行っている。関係課と一緒に協働して徴収を行っていきたい。

- 吉村 益則 議員
由布院サテライトオフィスについて 他
- 坂本 光広 議員
阿蘇野小学校跡地の老朽化について 他
- 佐藤 人己 議員
大分中部林道の洪水対策について 他
- 加藤 幸雄 議員
新型コロナワクチン
接種のお知らせについて 他
- 田中 廣幸 議員
有害鳥獣による被害対策について 他
- 田中 真理子 議員
コロナ感染症の自治体窓口の役目は 他
- 淵野 けさ子 議員
由布市学校施設長寿命化計画について 他
- 佐藤 郁夫 議員
大分空港の宇宙港計画について 他
- 首藤 善友 議員
加齢による難聴者への
補聴器助成を求める 他
- 太田 洋一郎 議員
水源地を守れ 他
- 高田 龍也 議員
湯布院公民館跡地利用について 他

吉村 益則 議員



「由布院サテライト
オフィスについて」他

Q 由布院サテライトオフィスについて。

A 地元の観光協会や旅館組合、運営事業者などと利用促進協議会を立ち上げたので各種要望、改善点などを検討し地域経済の活性化や新たな産業の創出へつなげる。

Q 湯平温泉の復旧復興について。

A 湯平地域災害復旧復興計画に基づき県と共に事業に取り組んで行く。共同温泉は新泉源からの配湯管新設工事や貯湯タンク更新工事など行い、金の湯、中の湯まで早急に取り組む。「避難場所は何処にどの様にするのか」について、新たに発足する「まちづくり協議会」を通じ地域と共に取り組む。

Q 下湯平幸せの湯周辺整備、八山橋取替工事について。

A 2事業は共に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し本年度より事業実施となり、下湯平の事業は本年度、八山橋は橋梁下部工事から順次上部工事、道路工事と行い令和7年度の完成を目指す。

その他、宇宙港に対する市の観光についての取り組み、環境行政について伺いました。

坂本 光広 議員



「阿蘇野小学校跡地の
老朽化について」他

Q 阿蘇野小学校跡地について、老朽化して危ない状況がどうなのか。

A 現在は、財政課が普通財産として所管し、阿蘇野地区グランドゴルフ協会と委託契約を締結し維持管理をお願いしています。敷地の一部はゲートボール場、運動場はグランドゴルフ場として活用して頂いているので未利用財産との位置づけはしておらず公売等を含めた新たな活用方法は、検討していません。建物については、全く使える状況にないと認識しており既に解体という方向を早い段階で決定していると認識しております。ただ、建物の中に様々なものが置かれており、現状の使用状況を改めて調査をして、解体をしていい、もう壊してくれというような御意見が強いのであれば、時期を検討してなるべく早い時期に解体に向けて進みたいと考えております。更地にした後の跡地の活用につきましては、現状と切り離して考えていかなくてはと思います。

その他、市有地財産売却、由布高校支援、燃料高騰等の対策について質問しました。

佐藤 人己 議員



「大分中部林道の
洪水対策について」他

Q 大分中部林道の洪水対策について。

A 豪雨の際に落ち葉や土砂等がグレーチング側溝等に流入・堆積し雨水が道路下の山腹や住宅地、水田に流れ込んでいる。対策として横断溝の設置や、年に1回は草切りをし、又U字溝の清浄をします。この林道は公共性が高いと認識しています。

Q 庄内地区で遊具の整備状況について。

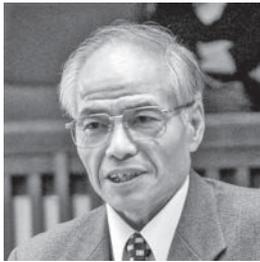
A 庄内公民館前の芝広場に新しく計画を進めています。令和5年3月に完成予定です。

Q 大郷ため池の進捗状況は。

A 総工事費3億270万円で、工期は平成29年～令和5年5月23日完成。

Q 県営袖ノ木地区圍場整備について。

A 事業の遅れにつきましては、入札の不調、湧水処理、転石処理等の不測の事態の発生の為、1工区と2工区で工事費4億9,600万円、3工区と4工区で6億8,000万円です。



加藤 幸雄 議員

「新型コロナワクチン接種のお知らせについて」他

- Q** 新型コロナワクチン接種のお知らせについて。3回目のワクチン接種から、5か月が来る前に申請書が来ても、ワクチン接種するのは5か月後になるのだから期日前に申請書を送っても良いのではないか。
- A** 3回目のワクチン接種から5か月の期間を空けないといけないため、接種間隔の誤りを未然に防ぐため、5か月後に申込み接種券を送るようにした。
- Q** PCRの検査を市内3カ所程度に開設する考えはあるか。
- A** 由布市で行うには、医師の確保や体制整備の上から困難だと考えている。
- Q** 令和3年度決算について。入札などで不用額が出ると思うが、その不用額で他の事業を行う事例はあるか。
- A** 不用額が発生した場合の流用は、基本的に認めてないが、緊急を要する案件が生じた場合は財政課の協議を経て流用している。
- Q** 低所得者支援について。消費者物価の高騰で、特に低所得者は生活に苦慮している。支援策はあるか。
- A** 市独自の物価・原油高騰対策として、生活困窮者自立支援金を受給した世帯に1人世帯3万円、2人世帯4万円、3人以上世帯5万円の支給を令和4年7月から行っている。
- Q** 市民が安心して暮らせる世界になれるようよろしくをお願いします。



田中 廣幸 議員

「有害鳥獣による被害対策について」他

- Q** 有害鳥獣による市内の農林水産物の被害対策について。
- A** 令和3年度の農林水産物の被害額は1,233万4千円で、過去5年間を比較すると、年々減少している。鳥獣から農産物を守る対策として補助金を出し電気柵や鉄柵を設置していただいている。狩猟免許を持ち猟友会に加入している方は、170名おり平均年齢は67歳で、一番若い方は29歳、女性1名おられる。猟銃免許を取得している職員は数名いるが猟友会の狩猟へ参加はしていない状況。捕獲報奨金の値上げについては今後、他の市町村の状況を注視する。猟銃免許取得者は、挾間支部22名、庄内支部41名、湯布院支部23名。捕獲した動物をジビエ店に持って行く所まで市としては把握していない。空き家、廃屋が小動物の住みかとなっておりアライグマの頭数も増えている。一定の地域限定で1、2か月程度で市に申請すれば捕獲の許可を出すことができる。防護鉄柵については、地域により償却の期間が来ている。他に、新型コロナウイルス感染症の対応について問う。加藤教育長には、コロナ禍の中、児童・学生達の教育面では大変だったと思います。お疲れ様でした。そしてありがとうございました。



田中 真理子 議員

「コロナ感染症の自治体窓口の役割は」他

- Q** コロナ感染症関連について、自治体の窓口の役割は。
- A** 感染症に対する対策は、感染症法に基づき保健所が行っている。市としては、発熱等の症状の方が市役所へ相談した時は、かかりつけ医など身近な医療機関、又は24時間対応の受診相談センターに電話するように、体調に異変がある場合には、早めにかかりつけ医や医療機関に受診するよう案内している。
- Q** ゴミ減量化について、生ゴミ処理機や機器利用の促進について。
- A** ゴミの重量が処理費となるため、生ゴミの水分量を減らすことが大切な課題。環境課で市職員対象に減量化へのアイデアを募集し、今後の対策を検討中。他市での生ゴミ処理機器の普及状況や費用対効果等の調査研究、水切り器具のサンプルを取り寄せ活動にどう生かせるかも検討している所。

この他、令和3年度決算の総評価について質問。



湊野 けさ子 議員

「由布市学校施設長寿命化計画について」他

- Q** 由布市学校施設長寿命化計画について。
- A** 由布川小学校は令和3年度に洋式トイレの改修工事という形で実施している。校舎の新増築等については、本計画とは別に検討して参ります。学校規模適正化計画を基本に調査研究を進め充実した教育が受けられる様、諸問題解決に取り組んで参ります。
- Q** 極めて深刻と考えるが、由布市内小中学校への不登校児童に支援を。
- A** 現在、不登校生徒児童数は、小学生13人、中学生28人。今後は専門家も入ったケース会議等、学校・行政・関係機関が一体となった支援を行って参ります。
- Q** 重層的支援体制整備事業の進捗状況について。
- A** 令和4年度より3年間の移行準備事業に取り組んでおり、令和7年度に本事業を実施する予定。今年度は包括的相談支援事業と多機関協働事業の2つを由布市社協に委託をして進めている所です。

最後に、市民が窓口相談に行った時の丁寧な職員の対応を、と尋ねました。



佐藤 郁夫 議員

「大分空港の宇宙港
計画について」他

- Q** 大分空港の宇宙港計画について。新たなまちづくりに繋ぐ一つとして積極的に取組を始めてはどうか。特に人材育成に努めてほしい。
- A** 市内の小中学校で社会科や理科、総合的な学習の時間の関連事項として扱うことができないか検討を進めていきたい。
- Q** 旧寿楽苑跡地・旧庄内公民館跡地の利活用について。
- A** 先ず、旧寿楽苑跡地の具体的な活用を優先して、敷地内の建物解体を、所有している団体と解体に関する覚書を締結した。来年度に若者定住住宅推進事業化に向け準備をしている。
- Q** 令和2年7月豪雨の復旧について。期間内の処理ができない場合どうなるのか。
- A** 通常、災害は3年間で復旧を終えることになっているが、大規模な災害の復旧過程で遅れている農地等を含め、年度内できない工事も、2年災の補助率で復旧が行われます。
- Q** ヤングケアラー等の支援体制強化について。
- A** 県の調査で、市内には3人のヤングケアラーの心配される児童・生徒がいる。支援体制の課題は、家庭内の事情で非常にデリケートな事ですので慎重な対応が求められる。今後も虐待や貧困などで苦しい思いをする子どもをなくす取組を進める。



首藤 善友 議員

「加齢による難聴者への
補聴器助成を求める」他

- Q** 加齢による難聴者への補聴器助成を求める。
- A** 令和3年度の全国市長会議で「軽度中等度難聴者・児の補聴器購入についても補装具費の支給制度の取組など、必要な措置を講じること」と要請されており、今後の全国的な動向を注視していく。
- Q** 市道粕掛線、粕掛橋の管理は市としてどうするのか。
- A** 粕掛橋は、平成21年橋梁点検業務委託の診断結果、高欄の破損、主桁・床板の損傷が著しく、現在、車両通行止め規制中。市道粕掛線の管理は、道路維持の範囲で適正な管理をしたい。
- Q** 農地・水・環境・多面的機能の補助事業をめぐる、土地改良区代表の収賄事件が新聞で6回に渡り報道された。再発防止へ向け指導を求める。
- A** 多面的機能支払事業は活動組織より、農用地の保全、水路や農道等の農業用施設の更新や補修を目的に5ヶ年の活動計画書を提出。計画が事業の目的に則せば認定している。活動組織に国県市が交付金を交付し、交付を受けた組織が工事の発注や施工管理を行い1年毎に実績報告を行うこととなる。また活動組織は、土地改良区が活動に参加する場合、事務を委託することが出来る。今回、土地改良区代表者と業者の間で起きた事件。市がその収賄内容を把握するのは非常に難しいと考える。また、活動組織より提出された書類に不備等は見当たらず、完成書類に基づき現地の確認も行っており、施工に問題点は確認されていない。再発防止として、工事発注事務ガイドラインの研修会等、事業の適切な運用に努める。



太田 洋一郎 議員

「水源地を守れ」他

- Q** 水源地を守れ。
湯布院町並柳地区の水源地周辺のメガソーラー計画に対して、由布市水道水源保護審議会から水道水源地保護区域内に開発計画の一部が規制対象事業に該当すると答申がなされた。市として今後どのような判断を下すのか。
- A** 湯布院町上水道はろ過施設を有しておらず、湧水に紫外線処理を施し塩素殺菌をして2千戸約4千人に給水していることから、答申内容を十分尊重した上で慎重に判断したい。
- Q** 慢性腎臓病の重症化を防ごう。
慢性腎臓病の早期発見治療が人工透析等の重症化を防ぐこととなる。現状、由布市では受診勧奨の基準はeGFR45 (G3a) 未満としているが、eGFR60 (G2) 未満に引き上げ保健師等による保健指導は出来ないか。
- A** eGFR60 という基準で早めに受診することが腎臓病対策の一つと思っているので、今後関係機関と協議をする。
※その他、新たな水源、湯布院公民館跡地について等を質問しました。



高田 龍也 議員

「湯布院公民館
跡地利用について」他

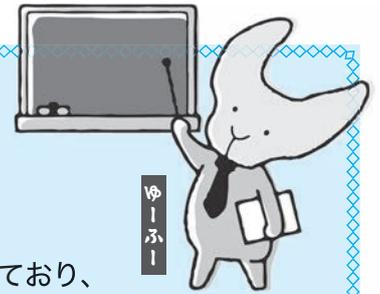
- Q** 補正予算（第3号）で湯布院庁舎の駐車場確保とあるが、庁舎建設時に検討しなかったのか。
- A** 地元の商店街の方と何度か協議したが、要望と違ったが予算の範囲内で当初設計を行った。
- Q** 前議会でも質問したが、湯布院公民館跡地利用についての答申は、市民の考えが反映されているのか。
- A** 旧湯布院公民館跡地利用検討委員会は全13名のうち学識経験者が3名、各種団体、跡地に隣接する方々で構成されている。
- Q** 検討委員会の構成を広げ、意見を幅広くもう一度聞くことは出来ないか。
- A** 今後は、答申内容を踏まえて、今度はプロポーザル（※1）でもっと具体的な案を募集する形になり、最終的な形が決定される。パブリックコメント（※2）等を通じて意見を頂く過程を踏んで、最終決定したいと思っている。
その他、由布市の税収・歳出について2点、由布市の開発について4点を質問した。
※1：入札の際、事業者が目的物に対する企画提案を行い、優れた提案をした事業者を落札する方式。
※2：意見公募。市の事業計画（案）を公表し、その案に対する市民の意見を募集すること。

議会活性化調査特別委員会のお知らせ

委員長：佐藤 孝昭

当委員会では現在、由布市議会基本条例の検証を進めています。これは、本条例の規定に基づいて行うものですが、そもそも「議会基本条例」とは何なのかはあまり知られておりません。そこで今回は、この「議会基本条例」について簡単に解説します。

『議会基本条例』って何かえ？



Q 議会基本条例って、どんなことを定めちよんの？

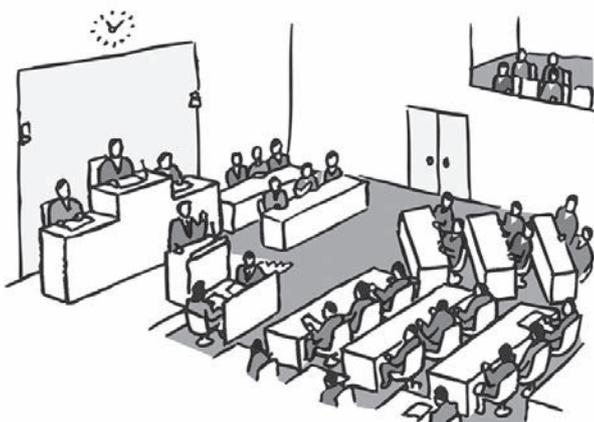
A 由布市議会の基本理念など、議会運営にかかる基本的事項を定めており、地方分権時代にふさわしい“開かれた議会”を実現することを目的としています。具体的には、「議会・議員の活動原則」「市民・市長との関係」「自由な討議による合意形成」「政治倫理」など、全 25 条で構成されています。

Q なんで議会基本条例を作ったん？

A 由布市が進めるまちづくりに対し、選挙で選ばれた複数の議員が議論を尽くし、市民代表の集団として意思（可否など）を決定するのが市議会の役割です。この地方分権時代において、地方自治の一翼を担う議会の役割と責務は非常に高くなっています。これらの責務を明らかにし、市議会が自ら議会改革に取り組んでいくことで、市民に開かれた、市民に信頼された、市民とともに歩む議会を目標として、市民福祉の向上に全力で取り組むことを誓い、この条例を制定しました。

Q 市民にとって、これで何が変わるん？

A 議会基本条例は「市民に開かれた議会」を実現することを目的としています。この理念に基づき、議会は広報活動に努めることや、議会への市民参加の機会を確保することなどが定められています。市民は、議会が開催する報告会などを通して市の抱える課題を議員と共有することで、議会と共に自らの声を市政へ届けることができます。



条例の第 25 条には「見直し規定」というものがありますが、平成 26 年に制定されてから評価・検証をしていませんでした。議会活性化調査特別委員会はこの規定に基づき、条例の検証に取り組んでいます。現在、由布市議会議員全員に対し 1 つ 1 つの条文とその現状を評価してもらいました。

今後は、議員全員の意見を精査し、評価検証について議論を重ねた上で報告書をまとめます。その際は、市民の皆様にもご報告したいと思っています。

■賛否一覧表

(令和4年第3回定例会)

※○=賛成、●=反対、退=退席、欠=欠席、監=監査委員、議長(長谷川建築)は採決に加わらない。
 ※その他の上程された議案については、全員一致で認定・同意・適任と答申・可決した。

議案名		議員名	議決結果	賛対		長谷川建築	鷺野弘一	田中真理子	佐藤人己	淵野けさ子	佐藤郁夫	甲斐裕一	加藤幸雄	太田洋一郎	平松恵美男	加藤裕三	田中廣幸	吉村益則	坂本光広	高田龍也	佐藤孝昭	志賀輝和	首藤善友	
				賛成	反対																			
認定1	令和3年度由布市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定について	原案認定	15	1	-	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案54	令和4年度由布市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	16	1	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

編集後記

10月中旬、台風14号の爪跡を残す湯平温泉へ、所用で訪れました。

遠い昔の花合野川の氾濫については知る術もないのですが、「温泉観光地」と「川」そして「地元地域」とを上手く融合し、多くの方々に親しまれてきた湯平の歴史に思いを巡らせました。

しかし同時に、ここ数年の雨量の多さがこれほどまでに甚大な被害を及ぼすのかと、復旧の困難さと住民のつらさを思うと、『何も出来ないがどうすれば』という、もどかしさも覚えました。

何事があってもまずは自分の命を守る、守ってほしい。そして、一日も早い復旧を願います。

田中 真理子



市議会 ホームページ

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- ・地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- ・お祭りへの寄附や差し入れ
- ・お中元やお歳暮
- ・年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- ・病氣見舞い
- ・葬式の花輪や供花
- ・本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- ・初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

議会広報編集特別委員会

委員長 加藤 幸雄 副委員長 首藤 善友

委員 田中 真理子 淵野 けさ子 加藤 裕三 田中 廣幸
 坂本 光広 佐藤 孝昭 志賀 輝和

次の由布市議会は11月30日(水)に開会予定です(令和4年第4回定例会)